

# 知的財産管理・产学官連携機能強化について

本学では科学技術分野の人材育成と学術研究を加速させ、学際化、総合化を図り、地域との連携を推進するため、2001年4月北九州学術研究都市(若松区)に国際環境工学部を開設し、2016年に15周年を迎えました。

国際環境工学部の開設にあたっては、先端的な環境技術と情報技術に関する研究開発を推進するとともに、その成果を産業の技術革新に結びつけ、「新産業の育成」、「既存産業の高度化」を図ることを使命に掲げています。市民や地元産業界との連携により、モノづくりのまち「北九州」の課題を技術的な側面から解決していかなくてはならないと考えております。

一方、国公立大学の法人化により、自立化、効率化が強く求められこととなった国公立大学においても、知的財産の積極的な獲得、適正な管理及びその有効な活用が「大学の社会貢献」の一つと考えております。

## 1) 知的財産・产学官連携管理体制整備

大学による研究成果には、長期間を経た後に実用化され、将来的に基本特許につながる可能性があるものが含まれているため、企業からの期待は大きく、产学連携の一層の円滑化が求められています。产学連携を円滑に推進するためには、共同研究・受託研究に関する規程やポリシーの整備が必須であるため、共同研究契約書・受託研究契約書及び知的財産管理規程等の整備を行いました。また、本学では研究開発や調査の成果である「知的財産」を積極的に獲得・活用し、公平で透明な管理・運用を行うため、知的財産管理体制の整備を進めてきました。

本学では下記のような管理体制を整備し、管理の一元化を行い、知的財産活動及び产学官連携活動を行っていきます。

### 知的財産・产学官連携管理体制

理事長 → 学長 → 产学連携委員会

- |                             |                               |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ●産学官連携に関する基本事項              | ●職務発明の認定に関すること                |
| ●共同研究、受託研究及び奨学寄附金の受入れに関すること | ●大学への権利の承継非承継の判断              |
| ●学術研究の地域への貢献に関すること          | ●権利の大学維持・管理の判断(出願・審査請求・年金納付等) |
| ●知的財産等の管理活用に関すること           | ●その他知的財産等に関すること               |
| ●その他産学官連携の推進に関すること          |                               |

環境技術研究所  
研究支援部門

- 外部研究費の獲得、受入れ支援及び管理運営
- 企業や研究機関との共同研究や受託研究の契約締結支援
- 研究不正防止支援や利益相反・安全保障輸出管理についての啓発及び専門アドバイザーへの橋渡し
- 研究成果のプレスリリース・機関誌等の支援
- 出展・シンポジウム等の開催支援

知的財産管理・产学官連携

- 知的財産管理・活用及びアドバイス
- 契約書締結支援(共同研究契約・共同出願契約・NDA等)
- 出展・展示会でのシーズ紹介
- 産学官連携に関する支援

(公財)北九州産業  
学術推進機構

- 産学官共同研究
- 産学連携コーディネーターによる専門アドバイスの活用
- 北九州TLOによる知的財産管理・技術移転コーディネート
- 産学連携関連情報の共同発信

## 2)大学独自の知的財産管理体制の強化

従来、大学では、技術移転活動を主な狙いとして知的財産活動を行ってきましたが、最近では各大学とも、外部資金獲得を狙いとした知的財産活動にも注力しています。本学も、今まで知的財産管理について、北九州TLO((公財)北九州産業学術推進機構)に全面的に業務委託を行ってきましたが、技術移転活動を重視した知的財産管理に加え、今後は外部資金獲得や企業との共同出願を重視した知的財産管理についても注力していきます。

また、本学では企業との共同研究成果である発明等については、実用化を考慮し企業との共同出願を行うことを推奨しています。そのため、従来とは異なる大学独自の知的財産管理の必要性が増してきました。そこで、昨年度より、大学独自の知的財産管理体制を整備するため、各種規程の見直しやルール作りを行ってきました。

また、企業との共同開発、ベンチャー創出及びライセンス等による研究成果の実用化の可能性を広げるためにも、大学単独発明の特許出願も視野に入れ、知的財産管理を行っていきます。

## 3)産学官連携の強化

産学官連携を強化するため、次のような技術移転活動を推進しています。

- 大学のシーズ集作成及びホームページへの掲載による情報提供
- 展示会出展やシーズ説明会を通して、事業化してくれるパートナー企業の探索

2015年からは、常勤の知的財産管理アドバイザーと専門職員を配置してよりきめ細やかな支援体制が整いました。今後もより一層の支援体制の整備を目指します。

### 知的財産管理 アドバイザーのご紹介

環境技術研究所

知的財産管理・産学官連携コーディネーター 特任教授 井上 正

電機メーカーにおいて研究開発、技術管理、特許管理に従事。(国研)科学技術振興機構 知的財産戦略センターにおいて特許管理に従事。九州大学知的財産グループにおいて知的財産コーディネータに従事。



## 環境技術研究所新施設 2017年春オープン

環境技術研究所は2013年に10年間を見据えた将来構想「ビジョン2013」を策定し、その中でとりわけ研究環境の充実を目指してきました。北九州市立大学の創立70周年を迎える本年、その記念事業として、ひびきのキャパス南側に新たな研究施設の建設をすることになりました。現在、工事が進んでおり、2017年春に完成する予定です。

この施設には、特に大きな成果が見え始めたバイオマテリアルの研究スペースの他、生物・化学系の研究に必要な実験設備を備えたオープンラボースペースが整備される予定です。

また、この施設は、プレキャストコンクリートの採用による建設現場の木製型枠材削減(森林資源保護)や人感センサーと連動したLED照明の採用、熱が逃げやすい窓面積の低減、庇による日射遮蔽(省エネ)、太陽光発電の設置(自然エネルギー利用)など、環境技術研究所として環境に配慮することとしています。

研究支援体制の強化により、今後とも研究施設の充実と一層の重点研究を推進するとともに、若手研究者の育成環境を整えていきます。



### ▶ 環境技術研究所について

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 構 造  | 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造            |
| 規 模  | 延べ床面積904.98m <sup>2</sup> |
| 供用開始 | 2017年4月                   |